

市民アンケート調査結果について

資料 1

■調査の概要

調査対象者 境港市内にお住いの18歳以上85歳以下の方
 調査方法 郵送による配布、郵送及びWEBによる回収
 調査期間 令和4年9月30日～10月31日
 調査数 無作為抽出による700人
 回収数339(紙267、WEB72)人 (回収率48.4%)

問1 年齢について

18～29歳	34	10.0%
30～39歳	31	9.1%
40～49歳	49	14.5%
50～59歳	53	15.6%
60～69歳	55	16.2%
70～79歳	86	25.4%
80～85歳	30	8.8%
無回答	1	0.3%
計	339	100.0%

問2 居住地区について

渡	59	17.4%
外江	58	17.1%
境	53	15.6%
上道	41	12.1%
余子	57	16.8%
誠道	12	3.5%
中浜	56	16.5%
無回答	3	0.9%
計	339	100.0%

問3 世帯構成について

一人暮らし世帯(65歳以上)	33	9.7%
一人暮らし世帯(65歳未満)	21	6.2%
ふたり暮らし世帯 (ふたりとも65歳以上)	60	17.7%
ふたり暮らし世帯 (ひとりが65歳以上)	25	7.4%
ふたり暮らし世帯 (ふたりとも65歳未満)	31	9.1%
2世代同居	109	32.2%
3世代同居	27	8.0%
その他	28	8.3%
無回答等	5	1.5%
計	339	100.0%

問4 居住年数について

50年以上	115	33.9%
20～49年	151	44.5%
10～19年	41	12.1%
5～9年	7	2.1%
5年未満	17	5.0%
無回答	8	2.4%
計	339	100.0%

問5 これからも住み続けたいですか。

住み続けたい	271	79.9%
住み続けたくない	5	1.5%
どちらともいえない	61	18.0%
無回答	2	0.6%
計	339	100.0%

住み続けたい理由について(最大3つ)

自分の土地や家があるから	195	28.1%
家族や親族がいるから	135	19.5%
親しい仲間・友人・ ご近所がいるから	69	10.0%
買い物や交通の便が良いから	60	8.7%
仕事の都合があるから	37	5.3%
長年住み慣れた地域だから	112	16.2%
気候・風土・自然等が気に入っ ているから	57	8.2%
地域の慣習・文化等になじんで いるから	7	1.0%
福祉・医療等のサービスが整っ ているから	15	2.2%
その他	6	0.9%
計	693	100.0%

「住み続けたい」その他

施設入所中
この地が好きです

住み続けたくない理由について(最大3つ)

自分の土地や家がないから	1	10.0%
家族や親族がいないから	0	0.0%
親しい仲間・友人・ご近所がい ないから	1	10.0%
買い物や交通の便が良くないか ら	2	20.0%
仕事の都合があるから	2	20.0%
住み慣れない土地だから	1	10.0%
気候・風土・自然等が気に入ら ないから	0	0.0%
地域の慣習・文化等になじめな いから	1	10.0%
福祉・医療等のサービスが整っ ていないから	1	10.0%
その他	1	10.0%
計	10	100.0%

「住み続けたくない」その他

単身

問6(1) 地区内の住民はお互い助け合っていると思いますか。

大変そう思う	17	5.0%
そう思う	139	41.0%
あまりそう思わない	79	23.3%
そう思う思わない	12	3.5%
分からない	88	26.0%
無回答	4	1.2%
計	339	100.0%

問6(2) 地区の行事や活動などに参加・協力していますか。

全てしている	8	2.4%
よくしている	46	13.6%
ある程度している	110	32.4%
あまりしていない	53	15.6%
ほとんどしていない	61	18.0%
全くしていない	57	16.8%
無回答	4	1.2%
計	339	100.0%

**問7 ふだん近所の方とどの程度のお付き合いを
されていますか。**

**問8 現在の近所付き合いに満足して
いますか。**

何か困ったときに助け合うようなつきあい	30
お互いに訪問し合うようなつきあい	17
立ち話をする程度のつきあい	111
あいさつをする程度のつきあい	137
ほとんどつきあいはない	29
その他	4
無回答	11
計	339

満足している	65	19.2%
おおむね満足している	145	42.8%
どちらとも言えない	109	32.2%
やや不満がある	9	2.7%
不満がある	6	1.8%
その他	4	1.2%
無回答	1	0.3%
計	339	100.0%

「近所付き合いについて」その他

「近所付き合いの満足度」その他

コロナ禍になってから別地区に引っ越したので、 地区の集まりなどもなく付き合いがほとんどない
近所の方が立ち入れない所に住んでいる
行事に参加することがある。
(記載無し・・・1件)

(記載無し・・・4件)

問9 地域でどのような問題や課題があると感じていますか。(複数回答)

地域でのつきあいや連帯が充分でないので問題を感じる	42	5.2%
地域での付き合いや連帯が強すぎて(わずらわしく)問題を感じる	14	1.7%
異世代との交流	32	4.0%
障がい者・高齢者が暮らしやすい環境づくり	61	7.6%
地域文化の伝承	15	1.9%
道路の整備	59	7.3%
交通が不便	58	7.2%
住宅の整備	20	2.5%
雇用	22	2.7%
ゴミの減量化	16	2.0%
高齢者の介護	47	5.8%
一人暮らしの高齢者の生活支援	56	6.9%
高齢者の社会参加や生きがい	27	3.3%
子どもの遊び場	62	7.7%
子どもの数が少ない	111	13.8%
家庭での子供のしつけや教育	11	1.4%
学校教育	11	1.4%
母子家庭や父子家庭の子育て	12	1.5%
共働き家庭の子どもたちの生活	22	2.7%
健康づくりについての人々の意識や知識	23	2.9%
乳幼児期の子育て	8	1.0%
子どもや高齢者などへの虐待	4	0.5%
医療	39	4.8%
その他	34	4.2%
計	806	100.0%

「その他」

空気が悪い
遠方からの小学生等危険を伴う 登校における交通手段の確保について
ゴミ出しルールが守れない
防災体制の取り組み
お隣の猫の多頭飼育による 臭いと鳴き声に困っている
雑草地が多い。野良猫。
引っ越してきたばかり
車の運転マナー
住みやすいです
ゴミ特にペットボトルの 投げ捨てが大変目立つ
分からない
近くに商店がない
カラス対策
考えた事ないので分からない
ごみの不法投棄・収集日を 無視した可燃ごみの持ち出し等
街灯が少なく暗い
野良猫を増やさない

問10 住んでいる地域で生活に関わる問題や課題が生じたらどのようにしますか。

①地域の慣習しきたり等に基づいて解決したい	62	18.3%
②地域のことに熱心な人に任せておきたい	37	10.9%
③行政に解決してもらうよう要求していきたい	125	36.9%
④住民同士で協力して解決したい	67	19.8%
⑤その他	17	5.0%
無回答	31	9.1%
計	339	100.0%

「地域の問題・課題」その他

個々の問題で、その対処の仕方が違うと思う
行政に相談する
私に出来る事をしたいのですが何をしたら良いのか？
興味がない
3または4だが質問が不明確で回答しにくい
班長区長に相談する
年寄りが先頭に立ち、若者の意見が通らないから黙るしかない
④で解決したいが行政に最終の調整をお願いしたい
付き合いがないので分からない
ケースバイケースなので分からない
自分たちでできないことを要求する
住民協力で解決できないものは行政の支援を受けて解決する方向に進めていきたい
問題内容に応じてそのときに最適な解決方法を模索・検討するのではないのでしょうか？その際に公平な機関としての行政の関与は必要かと思います。
住民同士により解決できない問題は行政に解決してもらう
命令があれば、速やかに出動する。
(記載無し・・・2件)

問11 あなたは今までにボランティア活動に参加したことがありますか。

現在参加している	42	12.4%
今はしていないが、以前参加したことがある	134	39.5%
参加したことがない	157	46.3%
無回答等	6	1.8%
計	339	100.0%

問11-1 ①どのような活動に参加されていますか。(複数回答)

高齢者支援	13	14.9%
障がい者支援	7	8.0%
子育て支援	2	2.3%
健康づくりに関する活動	4	4.6%
清掃・美化・地域おこし	35	40.2%
防災・防犯・災害支援	6	6.9%
環境保護・リサイクル	2	2.3%
生涯学習、スポーツ	8	9.2%
青少年育成・支援	5	5.7%
国際交流に関する活動	1	1.1%
その他	4	4.6%
計	87	100.0%

「ボランティア活動」のその他

子供見守り隊
病院受付時の相談等
(記載無し・・・2件)

問11-1 ②どのような理由からですか。

自分の能力をいかせるから	7	10.8%
活動が楽しいから	5	7.7%
周りの人がやっていたから	9	13.8%
仲間が増えるから	9	13.8%
社会に貢献できるから	27	41.5%
なんとなく	6	9.2%
その他	2	3.1%
計	65	100.0%

「ボランティアへの参加理由」のその他

頼まれて
施設の行事

問11-2①参加していない理由は何ですか。(複数回答)

仕事や家事で忙しく余裕がない	75	28.1%	「ボランティアに参加しない」その他
自分の趣味や余暇活動を優先したい	20	7.5%	
身体が弱い、病気がち	26	9.7%	
病人や高齢者等の家族の世話をしている	13	4.9%	
どこで活動しているかわからない	22	8.2%	
一緒に参加してくれる人がいない	7	2.6%	
興味や関心がない	16	6.0%	
その他	11	4.1%	
無回答	77	28.8%	
計	267	100.0%	

人間関係が難しい
時間が合わなくなった
目が不自由
船員生活が長い家にある時間が少ない
高齢等で適当でないと思う
ボランティア活動をされている人の邪魔になるような気がする。テキパキできない。
コロナ禍の為参加できない。
高齢のため
(記載無し・・・3件)

問11-2②今後ボランティア活動に参加したいですか。(複数回答)

ぜひ参加したい	16	4.7%
友人などが一緒なら参加したい	26	7.7%
時間が出来たら参加したい	128	37.8%
学習の機会があったら参加したい	30	8.8%
参加できない	68	20.1%
参加したくない	40	11.8%
無回答	31	9.1%
計	339	100.0%

問11-2③どの分野の活動に参加したいですか。(複数回答)

高齢者支援に関する活動	39	9.7%	「参加したいボランティアの分野」その他
障がい者支援に関する活動	31	7.7%	
子育て支援・母子福祉に関する活動	35	8.7%	
健康づくり・医療に関する活動	43	10.6%	
地域の清掃・美化・地域おこしに関する活動	101	25.0%	
防災・防犯・災害支援に関する活動	29	7.2%	
事前環境保護・リサイクルに関する活動	45	11.1%	
趣味や生涯学習、スポーツに関する活動	52	12.9%	
青少年育成・支援に関する活動	11	2.7%	
国際交流・国際協力に関する活動	14	3.5%	
その他	4	1.0%	
計	404	100.0%	

地域文化に関する活動
内容による
子供食堂
(記載無し・・・1件)

問12 現在自治会に加入していますか。

加入している	300	88.5%
加入していない	37	10.9%
無回答	2	0.6%
計	339	100.0%

12(1)加入していない理由は何ですか。

役員や当番が回ってくるから	7	17.5%
活動する内容が分からないから	0	0.0%
加入するメリットがないから	4	10.0%
自治会費が高いから	1	2.5%
特に理由はない	21	52.5%
その他	7	17.5%
計	40	100.0%

問13 地域組織の活動に参加していますか。

参加している	139	41.0%
以前参加していた	67	19.8%
参加したことがない	128	37.8%
無回答	5	1.5%
計	339	100.0%

「自治会未加入」その他

仕事をしていてほとんど参加できないので迷惑をかけるから。ただ、地域の人とは顔馴染みになりたい。
賃貸だから
基地隊員が自治会に加入する必要があるのか不明
集合住宅なので加入の働きかけがないから
仕事の都合上
隣が息子の家で同一家族の為
(記載無し・・・1件)

13①どのような活動に参加されていますか。(複数回答)

自治会の活動	62	58.5%
環境美化運動	14	13.2%
P T A や子どもの活動	5	4.7%
高齢者配食サービスなどの福祉活動	4	3.8%
地元のお祭りやスポーツ大会	5	4.7%
防犯・防災活動	3	2.8%
公民館行事や趣味サークル	10	9.4%
その他	3	2.8%
計	106	100.0%

「地域組織の活動」その他

地区社協
草刈り
(記載無し・・・1件)

13②どのような目的で参加していますか。

自分の能力や技術を地域に役立てたい	23	17.2%
仲間が増えるから	25	18.7%
余暇時間が有効に利用できるから	22	16.4%
役回りなので仕方なく	51	38.1%
その他	13	9.7%
計	134	100.0%

「地域組織への参加理由」のその他

大切なことだから
町内の人に参加しないと悪口を言う
人付き合いのため
自分のできる範囲で
社会参加のため
自治会会員との付き合いは大切
信頼があったから
地域住民の緩やかな連帯を産み出すための最低限の義務だと考えているため
(記載無し・・・5件)

問14 もし日常生活が不自由になった場合、近所の人に手助けしてほしいと思うことは何ですか。(複数回答)

安否確認の声かけ	132	25.2%
ちょっとした買い物やゴミ出し	79	15.1%
料理、掃除、洗濯の手伝い	32	6.1%
通院の送迎や外出の手助け	52	9.9%
子どもの預かり	11	2.1%
話し相手	43	8.2%
相談相手	41	7.8%
特にない	124	23.7%
その他	10	1.9%
計	524	100.0%

「日常生活に不自由した場合、必要な手助け」その他

どんな行政サービスがあるのか知りたい
現時点ではわからない
家族がいるから
他人に迷惑かけられない
その時になってみないと分からないと思う。
今はまだ分からない
将来何が不自由となるか不明であり、何か手助けをお願いすることになると自覚している
場面に依る
庭木の剪定・手入れ・草取り・水やり
(記載無し・・・1件)

問15 もし近くで困っている世帯があった場合、あなたが手助けを行えることは何ですか。(複数回答)

安否確認の声かけ	227	34.6%
ちょっとした買い物やゴミ出し	123	18.8%
料理、掃除、洗濯の手伝い	16	2.4%
通院の送迎や外出の手助け	48	7.3%
子どもの預かり	18	2.7%
話し相手	101	15.4%
相談相手	59	9.0%
特にない	54	8.2%
その他	10	1.5%
計	656	100.0%

「近所でお困りの世帯に手助けできること」その他

お互いの関係性に拠るもの大きいと思います
寝たきりでできない
できるかどうか不明だが災害時の声掛け
状況による
自分自身が身体障害者だから
現在健康であり、適当なものなら可能である
仕事が忙しいのでできません。
(記載無し・・・3件)

問16 行政が行う福祉サービス(ホームヘルパーなど)はこれからどうあるべきと思いますか。

税金等の個人負担が増えても内容は充実させるべき	35	10.3%	
個人の負担が増えないように他で使っている財源を振り分けて充実させるべき	226	66.7%	
福祉サービスの水準は現行のままで良い	44	13.0%	
福祉サービスの水準を下げてでも税金等の個人の負担を減らすべき	13	3.8%	
その他	3	0.9%	→「行政福祉サービスについて」その他
無回答	18	5.3%	考えたことがない
計	339	100.0%	記載無し・・・2件)

問17 福祉サービスを充実させていく上で行政と住民の関係はどうあるべきでしょうか。

家族、地域の助け合いを基本としながら、足りない部分を行政が支援する	95	28.0%	
行政と住民が協力し合っるとともに取り組むべき	168	49.6%	
行政の福祉サービスが届かない部分については住民が協力すべき	38	11.2%	
福祉サービスの提供は行政の責務であるので住民が協力する必要はない	16	4.7%	→「行政と住民の関係」その他
その他	5	1.5%	←人が少ないので行政からの充実したサービスがあつての住民協力
無回答	17	5.0%	税金多すぎて住民が協力しないのでは
計	339	100.0%	(記載無し・・・3件)

問18 「助け合い支え合いみんなが笑顔で暮らす街」という地域社会を目指す上で住民が取り組むべきことは何だと思いますか。(複数回答)

住民相互の日常的な対話や交流を広げる	135	22.1%	
高齢者や障がい者と子ども・若い人たちとの交流を広げる	95	15.5%	
自治会が住民の身近な暮らしや健康・安全・防犯などの問題に取り組む	106	17.3%	
身近な地域で住民のくらしや福祉について懇談する機会をつくる・増やす	65	10.6%	→「住民が取り組むべきこと」その他
地域で取り組まれている活動の交流や意見交換会を開催する	43	7.0%	程度が問題、個人の意思の尊重
民生委員とボランティアとの協力・連携を広げる	55	9.0%	国、自治体の協力
ボランティア活動・地域福祉活動への参加をもっと増やす	50	8.2%	よく分からない
その他	24	3.9%	←防災は分かりやすい資料配布や提示の充実
特になし	38	6.2%	分からない
計	611	100.0%	きれいな町にする→マスク・ペットボトルなどのポイ捨てをしない
			(記載無し・・・18件)

問19 地域福祉についてご意見などをお聞かせください。

①生活保護世帯に配布して下さっている可燃ごみ袋40ℓは、大きすぎて少人数世帯の者には適さないと思うので、20ℓの袋を希望します。

②境港市は、いろんな面で福祉面の取り組み、市長さんと市職員さんが協力して他の地域より早い。

③広い意味で、市民交流センター、図書館の充実は嬉しいことであり、福祉の取り組みの成果だと思いません。

老人ホームの外回りが草だらけ（ビック前）

地域福祉は自分たちでと思うのですが「個人情報」の言葉で終わってしまいます。どうすれば良いですか？

地域福祉活動への必要性は感じていますが、プライバシーの保護の不安があるので二の足を踏む事が多い。

1.誰もが安心して暮らしやすい社会にするため、充実した社会保障をもっと構築してほしい。（医療費、生活保護等）

2.困っている方にもっと手を差し伸べる。

3.障害者の支援をもっと充実させる。

4.私自身もできてない事が多々あったので、地域の一員として地域をより良くするための活動に積極的に取り組みたいとこのアンケートを通して強く感じた。出来ることから頑張りたい。

幹線道路でない枝の道路の点検と改善（見直し）！一方通行にもしたほうが良い道路が多い。通学道路となっており前後から車が来るので大変危険！人的事故が発生してから考えるのではなく定期的に検証し、その現状を市報に通知したほうが良い。冬場などは実に危ない。境港市は車中心の移動であり問題だ。毎月の市報に「交通事故状況」を報告し、市民に安全に対する→「日常的危機意識を持つようにしたが良い。路肩の危ないところも多い。屋敷の樹木の枝のはみ出しも無関心！福祉政策もこの切り口からも派生できる。未然に取り組む先手を打ち続ける行政を！！

一緒に最高の境港市にしていきましょう!!

①一人暮らしである。

②近くに親類など気軽に頼れる人がいない。

③年齢の高い方。この様な方々は困りごとがあってもどこに相談したらよいか分からない。又はプライベートな問題は例えば民生委員の方が知り合いだと相談しにくいと考える人もいる。問題が小さいからと遠慮される人もある。相談しやすい窓口を設けるのが大事なのでは。

高齢化が進み若者世帯は自分たちの生活、もう少し年を取ると親の介護、等々、支えあいたい助けあいたいという気持ちはあっても現実問題難しい点が多い。かといって境港市を見捨てる気持ちなどなく、福祉の充実した街になっていくことは願っている。人口が少ない分県内他市より羨ましがられる境港市でありたい。よろしく願いいたします。

高齢者等様々な人が使う「はまループバス」を有効活用し、危険な運転をしないさせないための町づくり推進をして頂きたい。また、観光業における宣伝は、弓はまがすり等、現在風化しつつある遺産を後世に伝承していく場でもあるので高齢者の方々が活躍される場を設けるためにも、水木しげるロードに展示してみるのが手ではないかと考える。とても住みやすい町づくりをして頂き、私はこの町が大好きである。

母は94歳で、私は66歳です。歩道に段差があり歩くのが大変です。もっと整備してほしいです。

私自身も手伝ってもらおう年齢になりました。でもその日が来るまで一日でも長く手伝いの方に居たいです。

現在まだ仕事をしていますのであまり回りが見えていません。自分が家事が出来なくなって支援をお願いする様になれば、地域福祉に相談出来ますが、今の自治会の協力で十分だと思っています

地域福祉とは…幅広く、何について記載していいか不明、具体的な項目での設問にすべき

地域で古い新しいがないようにどこの地域も一緒になって高齢者や障害者、小さい子供など皆が安心して暮らせるように助け合っていけたらいいのと思います。

高齢者子供を大切にしない国地域に未来はありません。福祉に力を入れ成果を出している国や地域を参考に、境港が独自のスタイルで取り組むことに期待しています。また、人とのつながりが深いほど暮らしやすいということもなく、適度な距離が大切だと思います。

自分が住んでいるところは新しく住宅が建つところである。近くに家が建ってもほとんど交流がない。どのような家族構成であるのかも不明なところも多い。挨拶等もないし、このような状態ではだめだと感じている。自治会に入っていない方も多くなっている。問題だと思う。自治会に入るメリット等がないのかもしれない。

押しつけはダメ。助け合いはいいが押しつけは嫌。個人の意思を尊重、画一的な制度ではダメ。

主が分かっている畑、雑草の手入れがなく背丈まで伸びている。所によっては、森にまで。地区によって（花町）数人の目に入って狸が出ます。他の人全体に市民活動はありますか？一歩入れればゴミの中（消防署裏側の川に沿って）

ファミリーサポート制度は子育て世代への支援だが、高齢者に対してもその様なサービスがあっても良いのではないか。傾聴や送迎などのボランティアのできる人と高齢者をマッチングさせる部分、窓口を行政の部分で立ち上げて利用しやすいようにもらえたら良い。

幼老複合施設をつくる…高齢者の表情を豊かにし子供たちにとっては学びの場と成り得るため、中に食堂を作り地域の人も出入りできるようにする。介護をひらけたもの、オープンにしていく。イメージを変える。

①困った時に相談できる窓口を分かりやすくできたら良い。

②地域福祉とは何か、何ができるのかの一覧というかパンフレットみたいな分かりやすい資料を作成して、各家庭に配布していただくとありがたいです。市報と一緒にお願いします。

一人暮らしの安否

実家の母を地域の班長さんがいつも気にかけてくださっています。離れて住む家族としてはとても有難く感じています。独居老人さんのいる地域は特に誰かが（行政だけでなく）声掛けをしたり家族と連絡したりすることができる体制が整うと「助け合い・支えあいみんなが笑顔で暮らすまち」のスローガンに一步近づくのではないかと思います。

現在は体が動くからわからない。

住宅地の隣地に畑を所有している場合。以前夫婦で作物（自宅消費用）を栽培していたが、相方との死別及び高齢化により耕作困難となり雑草が繁茂する。このようなケースの場合にも、シルバー人材センターの割引で草刈り・除草ができないでしょうか？老人の独居につけ込み不相応な大型機械と人員を送り込み高額な料金を請求され支払った事例もあります。住宅地街に立地し、耕作放棄地化するリスクもあります…。

民生委員の方が良く面倒を見てくださいます。話をよく聴いてアドバイスをくださいます。

住民の理解・意識づけをどうするかが大事。意識不足は否めない。行動が伴わない。参加するのに自由度を増やすこと、等。

行政官庁が業務遂行の基本としている申請主義については、効果的・合理的な原則ではあるが、こと「福祉」については当てはまらないと思う。例えば高齢者の中には精神的病とか支援する家庭環境等により実際には申請できない高齢者があまりにも多いと考えられる。行政にはこの様な点を考慮し申請があるのはごく一部分という考えで、公平で幅広い地域福祉をお願いしたい。申請を待っていては真の福祉はできないと思います。

障害のある次男が両親亡き後この地で安心して暮らしていけるかがとても不安です。もっと住民が理解できるような交流の場を作って貰えたらありがたいです。自分勝手なことを言ってすみません。

引っ越したばかりの住人に聞いても良く分からないと思うのでアンケートの抽出方法も1年以上住んでいる人間から抽出すべきである。何も考えていないようにしか思わない。もっと真剣に考えて貰いたい。

一人暮らしの高齢者だけではなく、夫婦共に80歳を越えた高齢者にも月1度の民生委員の訪問を希望します。

助け合い支え合いは住民が取り組むべき事だとは思いますが、コロナとか家庭での事情とかがあるので関わり方が難しいと思うところです。私自身も一人で暮らしている高齢者がいますが、今のところはまだ何も支援を受けていないのですが、今後はそういう事も受けながらとは思いますが、その手続きの仕方とかもよくわからないので、そのような手続きなども分かりやすくしてもらえたら良いなと思っています。

住民の暮らしや福祉そして安全防災等については、各自治会が日頃話し合っていると思います。しかし住民が納得できる解決策が取れているかといえば程遠いことだと思います。各自治会は「班の人だけ」の「班会議」を行い、班の中での住民の暮らしや福祉その他の問題を話したり、世間話で終わってもその価値はあると思います。班内の方の結束を強くする意味で又意思疎通を広げる意味で自治会主導で班内懇談を進めてください。市はそのための補助金を支出してください。今まで出なかった問題点と解決点が見えてくるでしょう。またこれを続けていくことをすすめます。(元自治会長)

①独居の要介護が必要な方への介入を進めてほしい。

②ADL低下した場合、帰ることができない人が多すぎるので、受け入れ先の充実、早期からの介入をしてほしい。

今のところ特にお世話してもらってないのですが、足の悪い主人と私はこれからどうして生活していったらいいのか。その時にはやはり市役所に行って相談したいと思っています。今はできるだけ自分の足を老化させない様に日常少しでも足を動かしています。これからの老後が少し心配です。住みやすい地域社会になります事を願っています。

みなとテラスのオープンによって多数の人が集まるようになって非常に喜ばしいです。若い人、高齢者と幅広い人が図書館を中心に集まっています。それらの人々の交流を深める方法がないでしょうか？

私は現在78歳です。アンケートは書きましたけどもっと民生委員の方に声掛けしてください。お願いします。話をさせてください。

近所に自治会不参加の方がおり、その方の家の周囲は除草されておらず、環境が悪いと思う。

地域住民の横のつながりがもっとあったらと思うがそれには？

福祉サービスに税金をいくら使用すべきかを検討する必要がある。皆、仲良く貧しくなろうとしている。将来の事も考えてください。

難しくて思いつきません。

大変な作業ですが行政のリーダーシップをお願いします。

最近、一人親(特に高齢の母)と独身の息子の二人暮らし、若しくは男性の一人暮らしが増えていると感じます。地域住民との交流が少ない傾向にある方々が、将来高齢化した時に社会から取り残されない仕組みが今以上に求められていると思います。昔の様な住民同士の関りが希薄になった今、自治会の活動等を通して現役世代の頃から近隣住民との交流の機会を少しでも持つことで、地域になじみ孤立しない環境を整えられればと思います。

行政がある程度問題を提起し、自治会、住民等問題を解決できる様、指導する様、図ると良いのではないかと。

安全・防犯については、防犯カメラの設置を望みます。都会のみならず小さな町であっても子供の行方、高齢者の行方を心配するニュースもあります。税金がそういう物に使われて欲しいです。

福祉関係の手続きに、時間・日にちがかかりすぎ！

私がこの地に新居を構えてからに比べ、つながりが薄くなってきたと感じる。親がなくなり子の代になりつながりがなくなってきた。私事でも同じことがあり交流がなくなった。今こそ以前の様に老若男女の交流を盛んにしなければならないと思う。自治会が元気になれば勢いが出てくると思う。行政はほどほどで住民が立ち上がらないと行政に頼りすぎになると思う。

住みやすい町づくりができれば良いと思います。

1.ひきこもって社会参加のできない方への訪問支援が手薄だと思います。場合によっては、勤務時間外でも出勤できるようなサポート体制づくりが必要です。

2.世間的に障害者＝身体的な障害のある方がイメージされがちで知的・発達・精神などの障害者への理解がまだまだ浸透していない。医療従事者・警察等は、障害について学習すべきだ。

大きな輪が欲しいです。

町内(地域)に新築されて住まれる若い人が共稼ぎが多く、どんな家族構成でどこに勤めておられるのか全く分からない。班長さん宅だけの挨拶なので顔も分からない。家自体も今の電化住宅で窓も小さく、掃き出し部分もなく、本当に生活の気配が分からない。当然、子供も分からない。古くからの近所(付き合っている)は、高齢者ばかりで今後は心配です。野良猫への餌やりをされる方があり、猫が増えて困っている。どうしたらよいものか。

今後も、少子高齢化は進み、地域のコミュニティーの変化(縮小、崩壊等)があらわれてくると思われます。自治会等の組織率の低下も懸念される中、地域の公民館の在り方を考えてほしい。現在の公民館が、本当に地域に必要な公民館であるのか？現状では、行政組織の縦割りの中、地域福祉の拠点は、公民館ではないかもしれませんが、市の中に新たな担当課を作り(福祉課内でも)、今、必要な機能を持った「コミュニティーセンター」が必要ではないかと思います。同時に、職員の方の待遇面も考慮、と同時に、社会教育だけではなく、地域福祉に精通した職員の配置も考えてほしい。その他、地域福祉は人です。地域の人材を掘り起こせる組織、例えば社会福祉協議会への人的支援も含め、役割を明確化した支援をしてはどうか。その他、市の担当課の若い方へ、窓口での接遇にてきぱきと笑顔で、必要なら研修をもっとやっていただければと思います。

予算が無いことを前提に無償の善意を引き出したい意図を感じる設問です。福祉課だけで改善できることは福祉課の中で考え、状況の把握が目的なら違う質問も必要です。ボランティアを組織したいなら、OBをまず募り活動することを実行してみせてほしいです。

調査客体本人は長期引きこもりの為、同居者が代筆しました。調査結果に対しては、ノイズになると思われます。